

第78期：環境方針・目標計画（兼報告書）・・・（中期環境目標：第78期～第80期まで3年間を含む）			
【私たちは、「企業理念」および「オルガンCSR：環境方針」に基づき、以下の「環境目標」を掲げ、環境に関する重点課題として活動する】			
【企業理念】 独自技術をもつ針づくり企業である歴史を尊びながら、自ら市場と社会の要請を洞察して、誠実に対応する。 この企業活動が、企業と社員、そしてお客様の成長・豊かさにつながり、良い循環を産み出していく、そういう企業でありたい。			
【環境方針】 私たちは、グローバルに展開するもの造り企業グループとして、持続可能な社会の実現に寄与するため、環境保全と企業成長の両立を目指します。 【順守評価】 指針①：環境に関する法令を遵守し、材料の選定から製造、流通、使用、処分に至るライフサイクル全体における環境への影響を配慮した製品の開発と提供に努めます。 【リスクおよび機会への対応】 指針②：すべての事業活動を通じ、資源の有効活用及び化学物質の管理など環境保全につながる活動に重点を置いて取り組みます。 【リスクおよび機会への対応】 指針③：環境意識の向上を図り、全社員が積極的に環境保全活動に取り組みます。 【著しい環境側面】 指針④：環境への影響の評価を定期的に行い、環境マネジメントシステムを利用した継続的改善に努めます。			

【注意】【目標1】～【目標4】は中期環境目標で管理(取り組む)項目。【目標1】～【目標4】に付随する各項目は単年度環境目標として管理する項目 【注意】（プラス）表記は、「リスク/機会」で「機会」として、取り組むと効果があると想定する有益な活動項目					
全社中期環境目標（第78期～第80期）			全社目標値		
【目標1】気候変動 主要環境側面である「電力・燃料使用」によるCo2排出量を削減し、気候変動リスクを低減する			■Co2排出量(総量) 2025年：2,078トン/年 ➡ 2028年：1,766トン/年(▲312トン) Co2排出原単位 2025年比：▲15%		
第78期（2026年度）			部門・事業所の年度重点課題		
年度環境目標	部門目標値	担当本部			
電力最適化によるCo2排出量削減	■Co2削減量：▲5% (全社排出量：1,974トン/年)	本社安全衛生委員会 技開C安全衛生委員会	・電力使用に伴う温室効果ガス排出低減と脱炭素社会への対応および環境パフォーマンス向上		
生成AI活用による業務改善(改善計画立案)		経営企画本部	・生成AIを活用した業務改善案を創出し業務効率向上による環境負荷低減機会の創出		
(プラス)環境視点からの委託運送業者の評価の仕組み構築	■環境評価基準を策定 ➡主要運送業者の洗い出し	ニードル事業本部	・輸送に伴う環境影響低減を目的に、環境配慮（積載効率、EV、共同配送、ISO等）を評価項目化		
全社中期環境目標（第78期～第80期）			全社目標値		
【目標2】資源循環 廃棄物の削減と資源循環の最大化により、環境負荷を低減する	■廃棄物削減量(廃プラ・木くず・金属くず・紙ごみ) 2025年：21.82トン/年 ➡ 2028年：19.64トン/年(▲2.18トン) 廃棄物原単位 2025年比：▲10% ■リサイクル率(廃プラ・金属くず・紙ごみ・有価物) 2025年：53.91% ➡ 2028年：61%以上(全廃棄物合計)		■廃棄物削減量(廃プラ・木くず・金属くず・紙ごみ) 2025年：21.82トン/年 ➡ 2028年：19.64トン/年(▲2.18トン) 廃棄物原単位 2025年比：▲10% ■リサイクル率(廃プラ・金属くず・紙ごみ・有価物) 2025年：53.91% ➡ 2028年：61%以上(全廃棄物合計)		
第78期（2026年度）			部門・事業所の年度重点課題		
年度環境目標	部門目標値	担当本部			
「やめる」「かえる」「けずる」PJと連動した業務効率化と環境負荷低減(不要をやめて、紙を削減) (5g-CO2/枚)	■CO2：前年比▲5% ■紙：前年比▲10%	管理統括本部	・不要業務の廃止や電子化を推進し、紙使用量削減および資源消費低減		
(プラス)PPWR(包装廃棄物規制)への対応を見据えた包装形態の見直し	■PPWR要求整理と包装仕様の現状調査	ニードル事業本部	・包装材使用量と廃棄物発生の低減、将来的な規制対応による環境負荷低減		
(プラス)業務デジタル化によるペーパーレス推進	■削減率1%以上 ■業務デジタル化1件以上	プローブ事業本部	・紙書類の棚卸しと削減対象の明確化および電子データ運用ルールの整備と部門内浸透		
(プラス)治工具包装資材の削減	■治工具包装の現状調査 ➡材料・重量・サイズ・再利用可否	デジタル技術推進本部	・過剰包装抑制による資源消費・廃棄物削減		
全社中期環境目標（第78期～第80期）			全社目標値		
【目標3】生物多様性・緑化(環境文化づくり) 緑化率向上により、地球環境価値の向上とヒートアイランド対策・生態系保全を図る	■緑化率 【本社】 2025年：6.33% ➡ 2028年：10% 【技開C】 2025年：19.82% ➡ 2028年：23%		■緑化率 【本社】 2025年：6.33% ➡ 2028年：10% 【技開C】 2025年：19.82% ➡ 2028年：23%		
第78期（2026年度）			部門・事業所の年度重点課題		
年度環境目標	部門目標値	担当本部			
水資源保全および生態系保全活動 ➡緑化率向上による生物多様性の保全とヒートアイランド対策	■緑化率：+1%(総緑化率：7%) ➡植樹：20本	本社安全衛生委員会	・事業所緑化を通じて雨水浸透促進、生物多様性保全およびヒートアイランド抑制に貢献することを目的として設定		
	■緑化率：+1%(総緑化率：21%) ➡植樹：10本	技開C安全衛生委員会			
全社中期環境目標（第78期～第80期）			全社目標値		
【目標4】化学物質管理 有害物質含有低減による製品ライフサイクルでの環境負荷低減	■対応率100%、非適合ゼロ		■対応率100%、非適合ゼロ		
第78期（2026年度）			部門・事業所の年度重点課題		
年度環境目標	部門目標値	担当本部			
(プラス)RoHS指令対応部材の採用	■RoHS対象部材のリスト化 と適合状況調査	デジタル技術推進本部	・有害物質含有低減による製品ライフサイクルでの環境負荷低減		
(プラス)製品に関する環境物質管理の新フロー構築	■環境物質管理業務の効率化 ➡新業務フローの構築	プローブ事業本部	・法規制対応の明確化と社内の業務フローの可視化ならびに標準化		